

3-3 現在不使用の福祉機器について

これまで購入した福祉機器の中で現在使用していない機器の有無についてお尋ねしましたところ、16名の方が現在使用していない機器があるとお答えになりました。

図3-8 現在不使用の機器の有無



また、不使用の機器の名前とその理由についてお尋ねしましたところ、体の状態にあわないことや機能や性能が不十分であることなどが、不使用の理由としてあげられていました。(いただいたご意見の中には、実際に購入されていない可能性のあるご意見もございましたが、そのまま掲載させていただきます。)

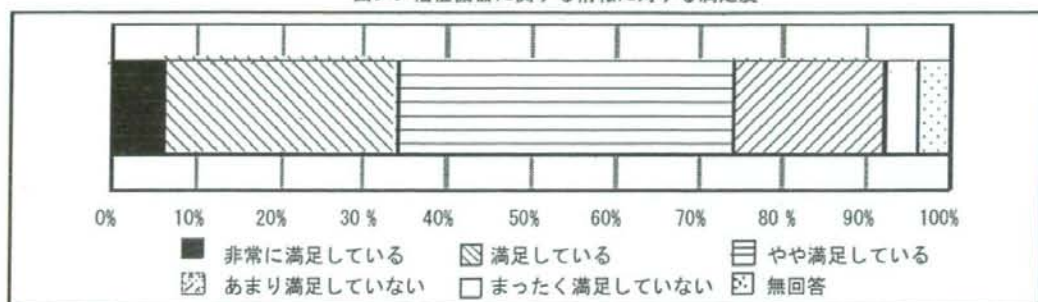
[表 3-6 不使用の機器の名前とその理由]

機器名	不使用の理由(意見数)
車いす	古くなり使用不能に(1)
手動車いす	電動で事足りるから(1)
電動車いす	修理費のダメージが大きい(1)
チルト式電動車いす	値段が高い為、大きさ・重量が多くなる為(1)
天井走行リフト	値段が高すぎ(1)
入浴リフト	賃貸の為改修ができない(1)
シャワーチェア	お尻にさわる部分があわなかった(1) 体に合わなかったため(1)
入浴用手すり	使用しなくて入浴可(1)
スロープ	引越後、必要なくなったため(1)
トランスファーボード	機器を使えるレベルではなかった。結果的に介助者に移乗してもらう方が適切、安全、時間短縮であった。(1)
バランス	テンキーで(パソコン) 文書を打つとつかれて30分しかできない。食事では食物がこぼれたり、口に運ぶのもつかれる(1)
ECS アイフォン	エアコン、明かりが反応しない(1)
シルバーフォン(呼気)	使えないから(1)
スピーチドラゴン	音声認識が能力的に実用性にとぼしい(1)
自動ページめくり器	セットするのが難しいため(1)

3-4 福祉機器の情報に対する意見

福祉機器の情報に対する満足度についてお尋ねしました。結果、「非常に満足している」と思われている方は少なく、一定程度の満足は得られているものの、情報提供のあり方に今後改善の余地がある様子がうかがえました。

図3-9 福祉機器に関する情報に対する満足度



加えて、満足されているかどうかに関わりなく、すべての方に情報の入手について不満な点をお尋ねしました。結果、インターネット上での情報が不足しているなど、情報提供の仕方に関することや必要な情報が入ってこないなど情報が十分に入手できていないことが不満な点としてあげられていました。

【表 3-7 福祉機器の情報提供の不満な点】

情報提供の仕方に問題がある (6)	インターネットでの情報が不足している(4)
	情報源がバラバラである(1)
情報が十分に入手できていない (6)	福祉機器の情報がそれぞれの団体であつかいに差がある(1)
	情報が入らない (2)
	情報の入手が困難(1)
情報を入手するのに障壁がある (3)	情報が無い(1)
	私にとって必要な情報が全て入手できていると思えない(1)
	的確な機能、情報までは入手できていない気がする。(1)
障害別に情報が得られるとよい (2)	現在使用している車いすのシーティングが不満だったが相談できる相手がいなかった。…国リハの存在は知っているが、出向くのが難しい(1)
	福祉機器展を見に行きたいが移動が困難なため行かない(1)
適切な業者が見つからない(1)	情報を入手する福祉機器のもっている機能とか金額を入手するのに時間がかかりすぎる(1)
	障害別に機器の情報が得られたらよい(1)
	同じ障害の実例が少ない(1)
	新居に引っ越した際、1番の問題点はエントランスの共用ドアの開閉をどうするかだった。インターフォンは使用できず、有線で作動させているが、この工事を行う業者が見つからず苦勞した(1)

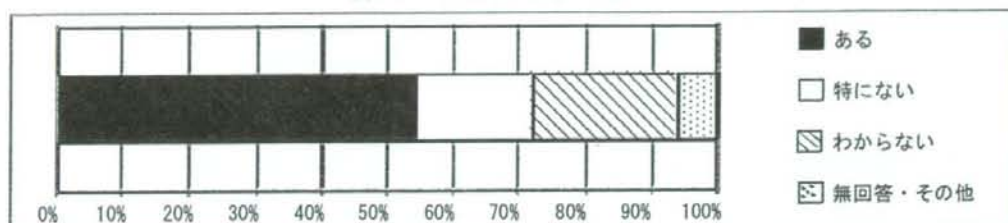
○内は意見数

[4]福祉機器に対する需要・要望

4-1 介助者の助けを借りずに一人でしてみたいこと

介助者の助けを借りずに一人でしてみたいことの有無についてお尋ねしましたところ、27 人の方があると答えになり、多くの方が現在一人でしてみたいことがある様子がうかがえました。

図4-1 一人でしてみたいこと



また、あるとお答えになりました方にその内容についてお尋ねしましたところ、排泄について多くの意見が寄せられていました。なお、読書については、「自動ページめくり機」（福祉機器）として現在2機種販売されており、スイッチで操作できます。ただし、ご意見のように高価であり、設置には介助者が必要です。

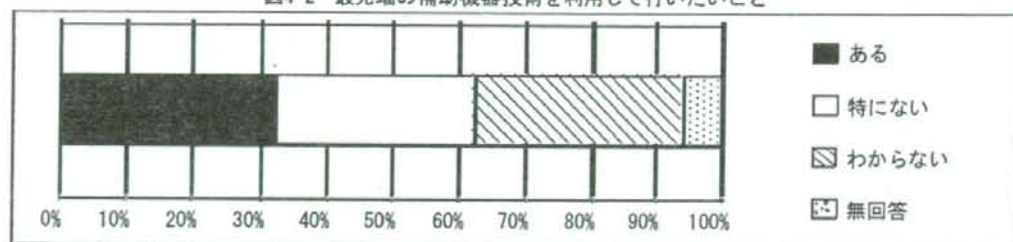
[表 4-1 介助者を用いずにやってみたいこと]

項目	内容(意見数)
排泄(9)	排泄(5)
	排便(2)
	トイレの使用(2)
入浴(4)	ゆっくり入浴してみたい他(4)
食事(4)	食事介助ロボット(みそ汁も飲めればなおよい)他(2)
	食事(1)
	冷蔵庫の中の飲み物をとって飲んでみたい(1)
トランスファー(4)	車いすから自動車、ベッド、浴槽への移乗(3)
	屋内リフトの軽量化(1)
外出(4)	単独で玄関の開閉ができ、外出できること(1)
	電車バスにはガイドのヘルパーが必要だが将来1人で乗りたい(1)
	ヘルパーに気をつかい買えないので、電動車椅子のスピードがアップしたら(時速10km以上)、タイムサービスで車椅子の両サイドにかごをつけておもしろいものを買いたい(1)
	突如の雨にも対応できる電動車いす(1)
着替え(2)	着替え(2)
その他(8)	調理(1)
	歩く(1)
	車の運転(スポーツカーなど)(1)
	読書、体が疲れないページめくりがスムーズにできるかつ安価な機器があればほしい(1)
	会話につき合ってくれるロボット(1)
	競技スキー、競技自転車、今までしていたので(1)
	ビデオカメラ、デジカメで自分が思った瞬間に自分が思い考えているアングルで撮影してみたい(1) っり(1)

4-2 最先端の補助機器技術に対する期待

脳から直接コンピューターや機械を操作する脳コンピューターインターフェースなど、最先端の補助技術を利用して行ってみたいことの有無についてお尋ねしましたところ、あるとお答えの方、特にないとお答えの方、わからないとお答えの方がほぼ同数いらっしゃり、現状では先端の補助技術にたいする具体的な期待はそれほど高くない様子がみうけられました。加えて、「わからない」とのご意見が多いことから、最先端の補助技術の正確な情報の入手が容易ではない様子もうかがえました。

図4-2 最先端の補助機器技術を利用して行いたいこと



また、あるとお答えになりました方にその内容についてお尋ねしたところ、家電製品やパソコンの操作、歩行などについて期待されている方が多い様子がうかがえました。また、脳内に部品を埋め込む侵襲的な方法に対して抵抗があるとお答えの方もいらっしゃいました。(脳インターフェースには脳内に直接電極を埋め込むなどしない非侵襲的な方法もあります。当センターでも開発中ですが、第6章に、英語のウェブサイトではありますが、最も進んだ例を掲載させていただきました。)

[表 4-2 最先端の補助技術を利用して行ってみたいこと]

希望内容(意見数)
立って歩くこと他(3)
自動車の運転(2)
家電の制御(2)
全ての機器の操作ができるとよい(1)
福祉機器を使用する上で全般的に役立てたい(1)
全ての電子機器を脳波で動かしたい(1)
無線LANにより家の中にある家電機器及びインターネットや出入り口の施錠など生活関連の作動を一括管理したい(1)
介護介助ロボットの操縦(1)
義手、手の筋肉のコントロール(電流を流したりして)(1)
パソコンをやってみたい(1)
魚を3枚におろし、巻き寿司作り、大根のかつらむきや栗の皮むきをしてみたい(1)
化粧(1)
現在のBCIでは脳に接続するため、頭がい骨にコネクターをつけるなど現段階での技術には未完成な点が多く侵襲的である。よって現技術でのBCI利用はご免蒙りたい。クワバラ、クワバラ…(1)

4-3 自由回答欄における開発希望福祉機器

ご自由に福祉機器や調査全般に関してご意見やご感想をお尋ねする自由回答欄に記載された項目を整理すると以下のようになりました。「福祉機器を使うことで生活が快適になった」という意見が聞かれましたが、その一方で、「既存の機器を使いやすくしてほしい」、「新しい機器の開発を進めてほしい」、「機器の開発や普及のあり方を改善してほしい」という意見が多くの方より寄せられていました。使いやすくしてほしい既存の機器としては、車いすや環境制御装置、リフトなどが挙げられていました。新しい機器の開発としては、音声や脳波を用いた機器、落としたり拾える機器などについて意見が寄せられていました。機器の普及や開発のあり方としては、値段や給付のあり方や情報提供の充実などについての意見が寄せられていました。

(第6章で、重度身体障害者向け福祉機器についての若干の参考情報を掲載させていただきました。)

[表 4-3 自由回答欄の意見のまとめ (すべての記述の概略を記載しております。)]

●福祉機器を使うことで生活が快適になった	
家では生活環境制御装置を使ってTV、電話、照明、読書、ナースコールなど利用し、便利に利用させてもらっているが近所の病院に入院した際にはナースコールさえないので本人は不安に思っている。(看護婦さんに頼んでいるが、思うようではない) 6年目にして検査入院する病院で(自費)装置を作り、やっと便利になった。	
電動車イスがなければ外にもいけなかった。環境制御装置がなければコール対応等で職員に待たされたりしてしまうので装置があって助かります。	
●既存の機器を使いやすくしてほしい	
車いす	現在と同程で軽い機能の車いす
	電動のバッテリーを小さく軽く、用量を大きく、急速充電出来るようになってほしい(40K走りた)
	オープンカーの様に屋根が電動で開閉できるようになればカッパを着なくてもすむので助かる
	電動車椅子に小型ミラーをつけてほしい
環境制御装置	ロボットに環境制御装置や電話の受付を行う機能があれば、便利だと思う。(ただしロボットといってもNECのパベロ程度で十分)できれば開発に関わりたい
	環境制御装置の安価と充実化を目指して欲しい
リフト	体重測定機能付き移動リフトが欲しい
車	車いすからベッドへ等のトランスファーを介助者に抱えてやってもらっているが、介助者の負担が軽減されるもの、小さくてレールのいらぬホイスト
	四肢マヒの者でも車の運転が出来るようになれば良い(車の改良)
●新しい機器の開発を進めてほしい	
音声操作	外出時四肢マヒの為エレベーターの操作が出来ないのが不便なので、音声やコンピューターで自在にできるようになればと希望します
	音声認識ソフトの機器開発をもっとしてほしい
	音声認識で全ての機器が操作できると良い
脳波	言語で動くロボットが欲しい
	究極は脳波で動く福祉機器です
物を拾える機器	物を床に落とした時に楽に拾える機器が欲しい。
	小銭を落としたとき、拾うのが大変なので拾える道具
着衣	ネックレスをつける
衣類	体温調整機構がついた衣類を作って欲しい。
パワーアシスト	以前テレビで見たが、介助者が腕や背中にパワーアシストをつけて無理なく患者を抱え上げていた。実用化できるのでしょうか。
読書機	本のページめくり器を作って欲しい。
余暇機器	カメラ撮影などの余暇機器
●機器の開発や普及のあり方を改善してほしい	
値段	福祉機器は値段が高い、安くしてほしい

	アメリカに iBot とかいう電動車いすがあり、とても画期的で高性能ものだそうだが、300万円近くするそうで、一般の障害者にはとても手がでない。移動機器は基本的に行政の限度額でお願いします
制度の充実	とかく福祉機器と名が付いただけで高額になっているので、障害を持っている人は身のまわりものを利用したり工夫して生活している。安く安全で役に立つ機器を提供してほしいコストの問題もあるのが福祉給付制度の充実が無いと購入者の需要が増えない
情報の提供	福祉機器をためず場所が身近にほしい 福祉機器の情報の窓口を作してほしい(インターネットでよい)
多様な状態への対応	いろいろな状態で使われる事を考慮に入れて、いろいろな状態に応じて使っていけるようなオプション類を最低限各機器に数種類は用意しておくべきではないかと考えます。 高位(C4)不全マヒに関する世間の無理解を排することが出来る日を願っています。福祉機器に関してほぼ完全を前提に作られているので中途半端な気がいたします。
開発への当事者参加	とかく福祉機器にしても一般的な機器にしても健常者だけで企画開発する際には障害当事者や高齢者等を数名入れて、おおいに議論や検証を繰り返しながらより良い物を開発して欲しいと思います
小型化	福祉機器は大がかりなものが多い。コンパクトにしてほしい
使いやすさ	技術の発展にともない、福祉機器が精密機能的になり、環境整備の充実がはかれると思うが、使い勝手が良ければ良いと思う。
故障への対応	故障等のトラブルの対処も必要である。

●その他

四肢マヒにおいて痛みの緩和方法を知りたい。スタンディングによるリハビリに正比例して痛み・しびれが強くなり、左半身にしびれ痛みが広がり、右下半身と指先しびれあり。

かかりつけ医から頸損の人は病院、施設などで受けいれてもらえない、救急車で行っても頸損と聞けばことわられると言われた。往診、訪問看護、在宅介護うけておりますが、診てやっている、やってやっているという態度で思いやりのないつめたい社会になったことつらく悲しい。

●調査への意見

福祉機器について余り知識がないのでどういったものがそれなのか同封して頂けたらと思った

<補足>

いただいたご意見に若干の補足をさせていただきますと、現在下記のようなものがあります。

・物を拾える機器

米国ジョージア工科大学の Healthcare Robotics Lab では、レーザーでポイントした物(落とし物でも)を持って来てくれるロボットを開発しています。

・パワーアシスト

現在、脚型が介護施設向けにのみリリース・レンタル販売されています。介助者が腕や背中に装着するものは2009年1月現在ではまだ商品化されていないようです。

・痛みの緩和方法

痛みに関する診察を行っている病院の診療部門として、ペインクリニック(麻酔科の中に設置している病院があります)があります。頸髄損傷者の方に対応している病院もございます。

[5] 周囲の人とのコミュニケーションと自分自身への意識

5-1 周囲の人とのコミュニケーションの状況

周りの人からどれだけ心理的な面で支えを受けていると感じているかをうかがいました。周りの人から心理的な面で支えを受けることは、精神的な安定感を高め、生活の質を向上させるために有効なことの一つであると言われています。重度の身体障害は生活のしにくさのみではなく、周囲の人との関係にも影響があるかどうか、あるいはそのような状況がある場合の今後の福祉機器の情報提供などのあり方を検討するためにこの設問を用いました。

この設問では、「情緒的支援ネットワーク尺度」という、「周りの人からどれだけ情緒的な支えを受けていると感じているか」を図る指標を用いました。「情緒的支援ネットワーク尺度」は通常、家族の中と家族以外それぞれにおいて、10項目の設問のうち、「いる」と答えた項目の合計点数を情緒的支援ネットワーク尺度得点として表します。この点数が高いほど、周囲の親しい人とつながりが強く、それらの人から支えを得られやすいと考えられます。

まず、各項目についてみると、多くの方が、「会うと心が落ち着き安心できる人」、「あなたを日頃評価し、認めてくれる人」、「あなたの行動や考えに賛成し、支持してくれる人」がご家族やご家族以外の方の中にいると答えられていました。次に、合計点数でみてみますと、家族内との方との情緒的支援ネットワーク尺度得点の平均は 8.12 でした。また、家族以外との方との情緒的支援ネットワーク尺度得点の平均は 7.41 でした。両者に大きな違いはありませんでした。一般的に情緒的支援ネットワーク尺度得点が 8 点以上の方は周囲の人と比較的強い情緒的なつながりを持っていると言われております。情緒的支援ネットワーク尺度得点の分布をみますと多くの方が 8 点以上となっており、多くの方が比較的強い情緒的なつながりを持っている様子がうかがえました。

図5-1 家族とのコミュニケーションの状況

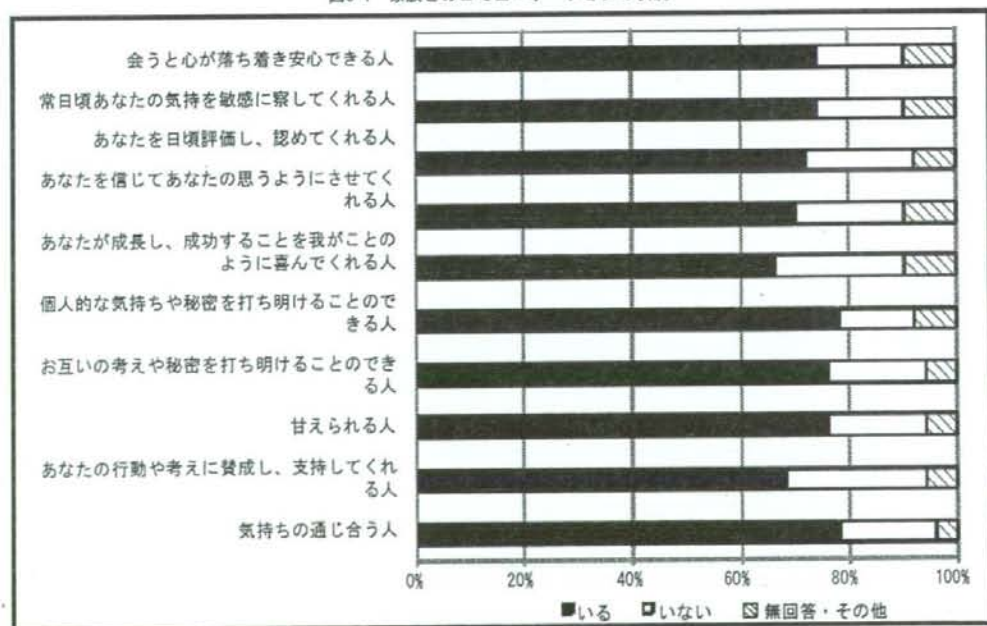


図5-2 家族以外の人とのコミュニケーションの状況

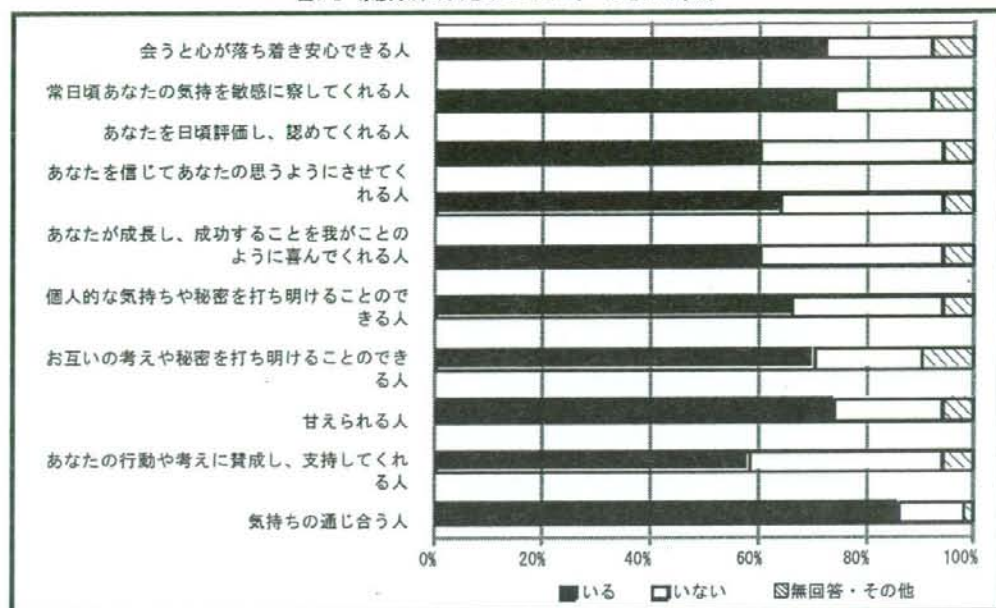
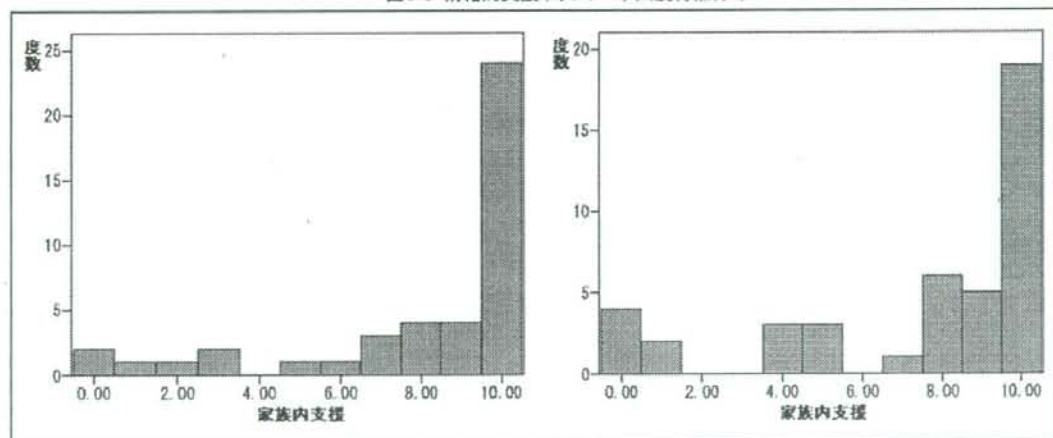


図5-3 情緒的支援ネットワーク尺度得点分布



5-2 自分自身への意識の状況

ご自身についてどのように感じられているかについてうかがいました。

この設問では、「自尊感情尺度」という自分を尊敬し、価値のある人間であると考えているかどうかを測る指標を用いました。一定程度の自尊感情をもつこと、つまり心理的にエンパワーメントされていることは、その人らしい生活を営み、社会とのかかわりを深める上で重要な要素の一つと考えられます。重度の身体障害が障害当事者のご自身への意識に影響を与えるかどうかを検討するためにこの項目を用いました。

各項目についてみると「少なくとも人並みには価値のある人間だと思う」、「いろいろなよい資質をもっている」、「自分に対して肯定的である」などの項目について「当てはまる」や「やや当てはまる」とお答えの方が多く存在しました。また、「敗北者だと思うことがある」や「何かにつけて自分は役に立たない人間だと思う」などの項目に対して「当てはまらない」や「やや当てはまらない」とお答えの方が多く存在しました。多くの方が現在の自分を肯定的に評価している様子がうかがえました。しかし、「だいたいにおいて、自分に満足している」の項目については「当てはまらない」や「やや当てはまらない」とお答えの方が「当てはまる」や「やや当てはまる」とお答えの方よりやや多く、さらに自分自身を向上させたいとお考えの方が多くあります。

「自尊感情尺度」は通常、「少なくとも人並みには価値のある人間だと思う」、「いろいろなよい資質をもっている」、「物事を人並みには、うまくやれる」、「自分に対して肯定的である」、「だいたいにおいて、自分に満足している」の5項目については、「当てはまる」に5点、「やや当てはまる」に4点、「どちらとも言えない」に3点、「やや当てはまらない」に2点、「当てはまらない」に1点を与え、その合計点を足します。また、「敗北者だと思うことがある」、「自分には、自慢できるところがあまりない」、「もっと自分自身を尊敬できるようになりたい」、「自分は全くだめな人間だと思うことがある」、「何かにつけて自分は役に立たない人間だと思う」の5項目については、「当てはまる」に1点、「やや当てはまる」に2点、「どちらとも言えない」に3点、「やや当てはまらない」に4点、「当てはまらない」に5点を与え、その合計点を足します。この二つの合計点数が自尊感情尺度の得点となります。得点の範囲は10点から50点となります。得点の平均は35.3点でした。また、その分布をみますと、多くの方が30点以上となっていました。この結果を他の調査結果と比べてみると、回答された方の自尊感情が他の方（重度の身体障害のない方）と比べて必ずしも低いわけではない様子がうかがえました。

図5-4 自分自身への気持ち

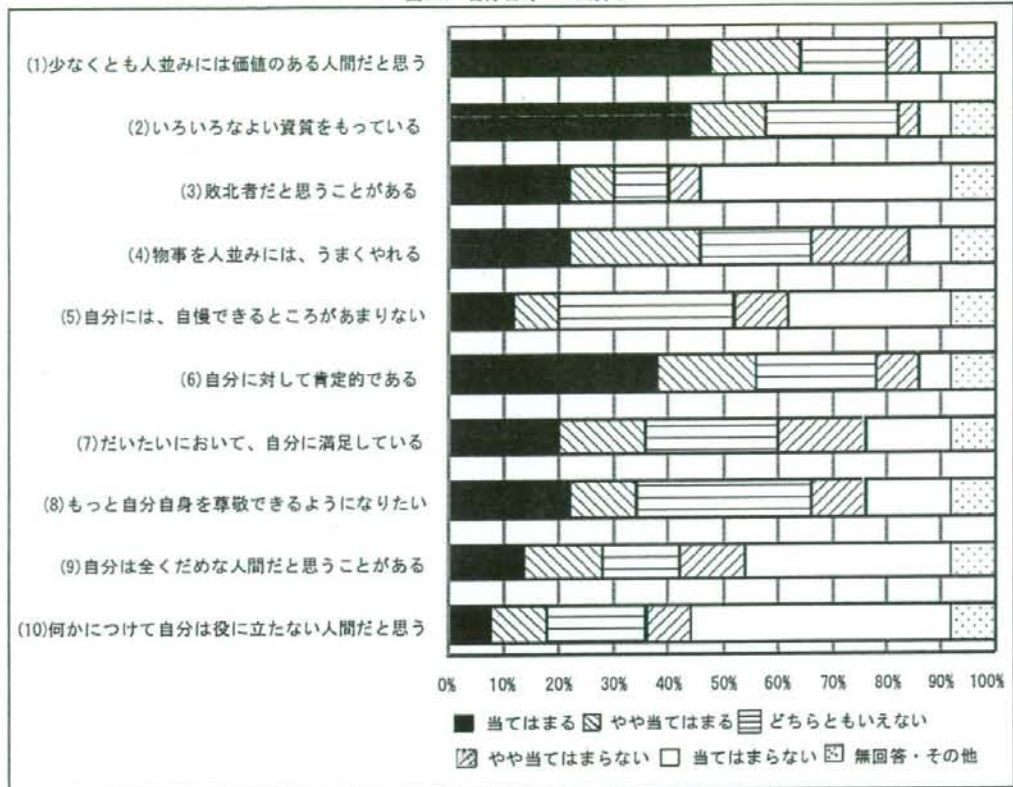
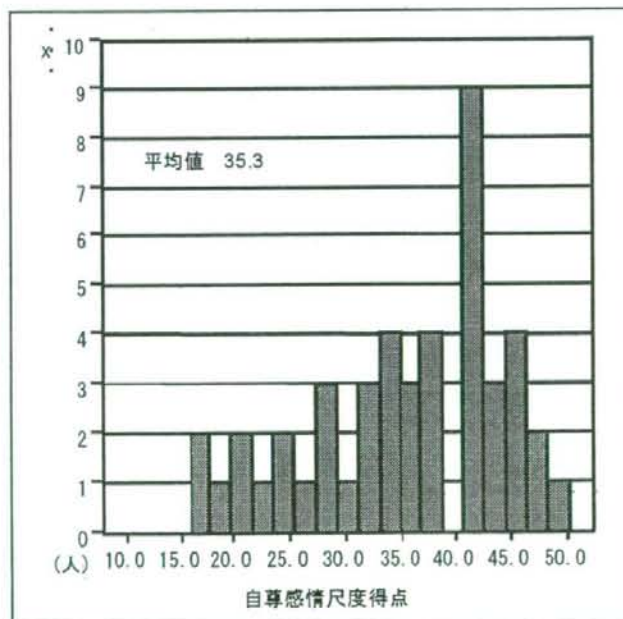


図5-5 自尊感情尺度得点分布



[6] 福祉機器に関する情報

ここでは、福祉機器に関する情報提供を目的として、福祉機器全般について知ることのできる Web Sites と書籍のリスト及び実際に機器を見ることができる東京都近隣の展示会場を掲載しています。

6-1 Web Sites

(1)AT2ED エーティースクウェアード <http://at2ed.jp/ply.php>

…東京大学・学際バリアフリー研究プロジェクトのサイトです。福祉機器の検索や関連する書籍の情報の入手ができます。

(2)財団法人テクノエイド協会 <http://www.techno-aids.or.jp/index.shtml>

…福祉用具情報システム(TAIS)を通じて福祉機器の検索ができます。

(3)財団法人保健福祉広報協会 <http://www.hcr.or.jp/index.html>

…毎年 8 月に開催されている国際福祉機器展の情報が掲載されています。また、福祉機器の検索ができます。

(4)リハビリテーション工学協会 <http://www.resja.gr.jp/>

…同協会の中にいくつかの SIG (Special Interest Group) があり、各分野の専門的な情報を提供しています。

- ・車いす SIG <http://www.wheelchair-sig.jp/index.html>
- ・移乗機器 SIG <http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html>
- ・コミュニケーション SIG <http://www.comsig.jp/>

リハビリテーション工学カンファレンス (URL : <http://www.resja.gr.jp/>)

障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について議論が行われます。

2009 年度リハビリテーション工学カンファレンスは、国立障害者リハビリテーションセンターを会場として 8 月 26 日から 28 日にかけて実施されます。障害当事者の参加を歓迎しており、今年度は参加費に障害当事者割引が設けられる予定です。

(5)大阪府「脊損ケア手帳」 <http://www.pref.osaka.jp/shogaifukushi/kankou/sekison/mokuji.html>

…大阪府の web site の中にあり、脊髄損傷に関わる医療的ケアについての情報が掲載されています。

(6)BCI2000 www.bci2000.org

<http://www.wadsworth.org/bci/>

<http://www.bciresearch.org/html/videos.html>

…脳コンピュータインターフェース技術の一つである「BCI2000」についての情報が掲載されている英語のサイトです。ここでは頭に脳波計をつけるだけで非侵襲的に使える BCI を中心に研究されています。

6-2 書籍

(1) 『福祉情報技術 (e-AT) 製品ガイド』

こころリソースブック編集会 編 (A4判・340頁) 3000円

…福祉機器全般に関する情報が掲載されています。

(2) 『福祉用具総覧 2007』

財団法人テクノエイド協会 発行 (B5判・701頁) 4200円

問合せ先: 財団法人テクノエイド協会総務部 (Tel: 03-3266-6880)

…福祉用具情報システムに収録されている機器約5000商品が掲載されています。

(3) 『H.C.R2008 福祉機器ガイドブック』

財団法人保健福祉広報協会 発行 (A4判: 約308頁) 1000円

問合せ先: 財団法人保健福祉広報協会 (Tel: 03-3580-3052)

…2008年度国際福祉機器展 (H.C.R.2008) で展示された福祉機器の概要が掲載されています。

6-3 機器展示会場

(1) 東京都障害者 IT サポートセンター

〒162-0052 東京都新宿区戸山 3-17-3 東京都心身障害者福祉センター新館 3階

電話 03-3208-0471 FAX 03-3208-0472 URL: <http://www.tokyo-itcenter.com/index.html>

…IT関連の相談受付やIT機器の展示などを行っています。

(2) 福祉用具・住宅改造展示相談室「たすけっと」

〒156-0043 東京都世田谷区松原 6-41-12

電話: 03-5355-3451 FAX: 03-5355-3462 URL: <http://www.tasuketto.net/>

…福祉機器の展示を行っています。また、世田谷区民を対象に機器の相談・貸し出しを行っています。

(3) 介護すまいる館

〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 彩の国すこやかプラザ内

TEL: 048-822-1195 FAX: 048-822-1426 URL: <http://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama07/>

…埼玉にある展示場で主な対象は高齢者ですが、約900点の機器の展示を行っています。

(4) かながわ福祉推進センター(福祉用具展示場、障害者等ITサロン)

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター (12階、14階)

Tel 045-312-1121 (代) URL: <http://www.knsyk.jp/syakyo/suisin/suishin-index.html>

…神奈川にある展示場です。

(5) 国際福祉機器展

URL : <http://www.hcr.or.jp/>

…国内最大の福祉機器展です。毎年、東京ビッグサイトで開催されており、2009年は9月29日(火)から10月1日(木)まで開催される予定です。

補足

国立障害者リハビリテーションセンター病院シーティング適合サービス

TEL:04-2995-3100 (内線 3152) (国立障害者リハビリテーションセンター病院 医事管理課)

URL : <http://www.rehab.go.jp/hospital/japanese/seating/seating.html>

国立障害者リハビリテーションセンター病院では、「電動車いすの適合と操作練習」、「体圧測定をとおして褥瘡予防の対策と指導」などのシーティング適合サービスを医師、理学療法士、研究エンジニア、義肢装具士、言語療法士などさまざまな職種が連携して実施しています。

サービスを希望される方は、最初にリハ科・整形外科外来の受診が必要となります。

また、国立障害者リハビリテーションセンター病院では意思伝達装置の適合サービスも実施しております。

福祉機器の使用状況および要望に関する調査

◆調査の目的

現在、私ども井上剛伸、森浩一及び丸岡稔典は、国立身体障害者リハビリテーションセンターの研究所に所属し、必要と考えられる補助機器・機能について調査しています。このたび、厚生労働省科学研究費補助金を得て、重度の障害をお持ちの方にとって、およそ今後 10 年程度以内に開発・実用化できると考えられる福祉機器のうち、どのようなものが真に必要とされているのか把握することを目的とした研究を始めました。従来、福祉機器の開発はほとんどの場合、新しい技術の発展がまずあって、それが応用できる分野を探すというような形で開発されてきたことが多くありましたが、私たちは皆様の生活の立場から福祉機器について研究し、今後の福祉機器の開発やその普及のための環境整備に活かしていけるようにしたいと考えています。この調査は、皆様の福祉機器のご利用の状況と福祉機器の開発に関する要望を知ることを目的としております。この調査の結果は記号で管理し、お名前や住所とは切り離して処理をします。この調査の結果は随時学会発表、学会誌、学術雑誌への投稿、書籍への寄稿、厚生労働省への報告書などに使用しますが、皆様個人を特定できる情報は公表しません。また、調査に協力いただかなくても皆様に不利益は一切ございません。調査にご同意いただける方のみご協力ください。

◆回答をお願いしたい方について

この調査票は、東京頭脳損傷者連絡会からご住所を教えてくださいました会員の皆様にお送りしております。この調査票の質問に対しては、実際に会員の皆様ご本人がお答えください。（ご記入は介護者の方でも構いません。）なお、調査に同意されない方はお答えになる必要はありません。

◆回収について

ご記入いただいた調査票は、同封した返信用封筒に入れ 3 月 19 日までに投函してください。

◆記入上の注意について

1. 質問への回答は、特に指示のない限り当てはまる番号ひとつに○をしてください。
2. ただし、「あてはまるものすべてに○をつけてください」、「具体的にお書きください」といった指示がある場合は、その指示にしたがってください。
3. この調査には正しい答えや誤った答えがあるわけではありませんので、あなたのお考えをありのままにお書きください。

研究責任者の氏名・所属・連絡先（調査・個人情報の取扱についての苦情申し出先）

研究代責任者

井上 剛伸(国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部)

調査についての問い合わせ先（調査・個人情報の取扱についての苦情申し出先）

丸岡 稔典(国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部)

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地

TEL:04-2995-3404 FAX: 04-2995-3132 E-mail tmaruoka@rehab.go.jp

まず、あなた自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの年齢と性別についておうかがいします。

() 歳

1.男性

2.女性

問2 あなたはいまどのような方と一緒に住まれていますか。当てはまる方すべてに○をつけてください。

1.一人暮らし 2.配偶者(夫または妻) 3.親・きょうだい 4.子ども 5.その他(具体的に)

問3 あなたの障害の損傷のレベルについておうかがいします。

1.C 番 完全損傷・不完全損傷 2.わからない

問4 あなたの障害の機能レベルについておうかがいします。ザンコリー分類についてご存知の方はそれもご記入ください。

1.右C・ 番 左C 番 2.わからない
(ザンコリー分類 右 左)

問5 あなたの受傷年齢は何歳のときですか。

() 歳のとき

次に、あなたの生活のご様子についてお聞きします。

問6 あなたは以下のような動作について介助や機器を必要とされていますでしょうか。機器を必要とされている場合は、最も使用されている機器を一つお書きください。また、合わせてその機器の満足の程度で一番近いもの一つに○をつけ、改善希望点がありましたらそれについてもご記入ください。

(1) 屋内の移動(機器には介助用車いすなども含まれます)

1.機器・介助とも不要、2.機器は不要、介助は必要 3.機器は必要、介助は不要 4.機器、介助とも必要

最も使用されている機器の名前

満足の程度(一番近いもの一つ)

1.非常に満足している 2.満足している 3.やや満足している
4.あまり満足していない 5.まったく満足していない

改善を希望する点

1.希望する点は特にな
2.改善を希望する点がある(具体的に)

(2) 入浴

1. 機器・介助とも不要、2. 機器は不要、介助は必要 3. 機器は必要、介助は不要 4. 機器、介助とも必要

最も使用されている機器の名前

満足の程度 (一番近いもの一つ)

1. 非常に満足している 2. 満足している 3. やや満足している
4. あまり満足していない 5. まったく満足していない

改善を希望する点

1. 希望する点は特にな
2. 改善を希望する点がある (具体的に)

(3) 排泄

1. 機器・介助とも不要、2. 機器は不要、介助は必要 3. 機器は必要、介助は不要 4. 機器、介助とも必要

最も使用されている機器の名前

満足の程度 (一番近いもの一つ)

1. 非常に満足している 2. 満足している 3. やや満足している
4. あまり満足していない 5. まったく満足していない

改善を希望する点

1. 希望する点は特にな
2. 改善を希望する点がある (具体的に)

(4) 就寝・起床

1. 機器・介助とも不要、2. 機器は不要、介助は必要 3. 機器は必要、介助は不要 4. 機器、介助とも必要

最も使用されている機器の名前

満足の程度 (一番近いもの一つ)

1. 非常に満足している 2. 満足している 3. やや満足している
4. あまり満足していない 5. まったく満足していない

改善を希望する点

1. 希望する点は特にな
2. 改善を希望する点がある (具体的に)

問7 日常生活をおくる上で、あなたに「もつとも」協力・介助をしてくれている方はどなたですか。主たる介助をされている方「ひとり」に○をつけてください。

1. 日常生活で介助は必要ない

2. 親やきょうだい 3. 配偶者(夫または妻)や子ども 4. ヘルパー 5. その他(具体的に)

問8 あなたは平均してヘルパーをどの程度利用していますか。当てはまる所に数字を記入してください。

1. ヘルパーを利用していない 2. 1日()時間程度 3. 月に()時間程度

問9 あなたと周りの人のコミュニケーションの状況についてお聞きします。(1)から(10)に該当する人があなたの周りにいますか。当てはまる所一つに○をつけてください。

(1) 会うと心が落ち着き安心できる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(2) 常日頃あなたの気持ちを敏感に察してくれる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(3) あなたを日頃評価し、認めてくれる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(4) あなたを信じてあなたの思うようにさせてくれる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(5) あなたが成長し、成功することを我がことのように喜んでくれる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(6) 個人的な気持ちや秘密を打ち明けることのできる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(7) お互いの考えや秘密を打ち明けることのできる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(8) 甘えられる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(9) あなたの行動や考えに賛成し、支持してくれる人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

(10) 気持ちの通じ合う人

ご家族の中に 1. いる 2. いない

ご家族以外に 1. いる 2. いない

《一般電話のご使用について》

問 11 あなたは一般電話を使用する上で特別な機器や機能を使用されていますか。

1. 特別な機器や機能使用している

2. 特別な機器や機能を使用していない

「1. 特別な機器や機能を使用している」とお答えの方は (1) ～ (3) についてご記入の上、問 12 にお進みください。「2. 特別な機器や機能を使用していない」とお答えの方は (4) についてご記入の上、問 12 にお進みください。

「1. 特別な機器や機能を使用している」とお答えの方にお聞きます。

(1) 最も使用される機器一つをご記入ください。

機器や機能の名前

(2) (1) で記入された機器や機能についてのあなたの評価をお聞かせください。あなたの気持ちに一番近いもの一つに○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまり そう思わない	ややそう思う	そう思う	非常に そう思う
この機器や機能はあなたが生活する上で重要である	1	2	3	4	5
この機器や機能はあなたが期待した性能を満たしている	1	2	3	4	5
この機器や機能に全体的に満足している	1	2	3	4	5

(3) (1) で記入された機器について改善を希望する点がありますか。

1. 希望する点は特にない

2. 改善を希望する点がある (具体的に)

「2. 特別な機器や機能を使用していない」とお答えの方にお聞きます。

(4) 特別な機器を使用されていない理由について最もあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 自分でできるので困っていない

2. 介護者がいるので困っていない

3. 機器や機能を購入したが使えなかった

4. 機器や機能を購入したいが適当な機器がわからない

5. 機器や機能を購入したいが費用が高い

6. その他 (具体的に)

《テレビのご使用について》

問 12 あなたはテレビを使用する上で特別な機器や機能を使用されていますでしょうか。

1. 特別な機器や機能を使用している

2. 特別な機器や機能を使用していない

「1. 特別な機器や機能を使用している」とお答えの方は (1) ~ (3) についてご記入の上、問 13 にお進みください。「2. 特別な機器や機能を使用していない」とお答えの方は (4) についてご記入の上、問 13 にお進みください。

「1. 特別な機器や機能を使用している」とお答えの方にお聞きます。

(1) 最も使用される機器や機能の一つをご記入ください。

機器や機能の名前

(2) (1) で記入された機器や機能についてのあなたの評価をお聞かせください。あなたの気持ちに一番近いもの一つに○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまり そう思わない	ややそう思う	そう思う	非常に そう思う
この機器や機能はあなたが生活する上で重要である	1	2	3	4	5
この機器や機能はあなたが期待した性能を満たしている	1	2	3	4	5
この機器や機能に全体的に満足している	1	2	3	4	5

(3) (1) で記入された機器について改善を希望する点がありますか。

1. 希望する点は特にない

2. 改善を希望する点がある (具体的に)

「2. 特別な機器や機能を使用していない」とお答えの方にお聞きます。

(4) 特別な機器や機能を使用されていない理由について最もあてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 自分でできるので困っていない | 2. 介護者がいるので困っていない |
| 3. 機器や機能を購入したが使えなかった | 4. 機器や機能を購入したいが適当な機器がわからない |
| 5. 機器や機能を購入したいが費用が高い | 6. その他 (具体的に) |